



わたしたちに あたえられた けいやく

創世記
1章 27節

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

神様は、はじめに神様のかたちとして人を創造されました。神様とともにいるときに、まことの幸せを得る存在として人は造られたのです。そして、その中ですべてを征服して治めることができる祝福をくださいました。しかし、はじめの人がサタンにだまされて神様を離れてすべての祝福を失ってしまったので、悪魔に制せられて支配された存在になりました。

このような人に、神様は創世記3章15節で女の子孫、キリストを約束してくださいました。そして、この契約を握った人には救いの祝福をくださり、世界福音化の証人として立たせてくださいました。この契約は後に、復活の初穂であるイエス様がキリストの働きをなさったことによって完成します。この事実を見聞きして伝えた多くの人は、キリストの契約を握って神様がともにおられる祝福を味わいました。

神様は私たちに福音であるイエス・キリストの契約をくださいました。この契約からはじまった神様の契約は、神様がくださる永遠のことにつながります。今日、神様のみことばを心と思いにと心に留めましょう。神様が直接、永遠に成就する祝福のみことばにしてくださいましょう。



神様ははじめに人に与えられた契約をあらわす絵です。
聖書のみことばを書き写して、私たちにくださった契約を心に深く刻みましょう。



創世記1章27～28節のみことば



きょうのでんどう

会う人

準備する資料



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。永遠の契約のみことばである福音と私にくださった神様の契約を握って勝利しますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



サミットとして いく じかん

Ⅱ列王 2章9節

渡り終わると、エリヤはエリシャに言った。「私はあなたのために何をしようか。私があなたのところから取り去られる前に、求めなさい。」すると、エリシャは、「では、あなたの霊の、二つの分け前が私のものになりますように」と言った。

人は母親から生まれ、それぞれ成長する過程で多くの苦しみ乗り越えて更新します。たとえば、赤ん坊が立ち上がって歩きだすまで、その子も知らないうちに数千、数万回の更新を経験しています。それと同じようにレムナントである私たちの一日一日は更新の旅程です。私たちと同じレムナントである聖書の人物もやはり、すべての問題を土台として更新しました。

アラムの国の指導者が偶像を神だと信じていた時期に、霊的指導者エリヤの弟子でレムナントのエリシャがいました。彼は師匠のエリヤが天に昇るときに、ただエリヤが受けた霊の2つの分け前を求めました。霊的力こそが、問題を土台として更新の旅程を行くまことの力であることが分かったからです。のちにエリシャは、ドタンの町運動と呼ばれるレムナント運動を起こすほど、神様の霊の宿るサミットになりました。

神様は私たちをエリシャのようにこの時代を生かすサミットとして呼ばれました。毎日神様とともにいる深い祈りに挑戦して、サミットに行く時間を持つようにしましょう。偶像に陥ったこの時代を福音で救い出す唯一の答えを体験するようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。問題と苦しみを土台にして、この世を生かすサミットになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

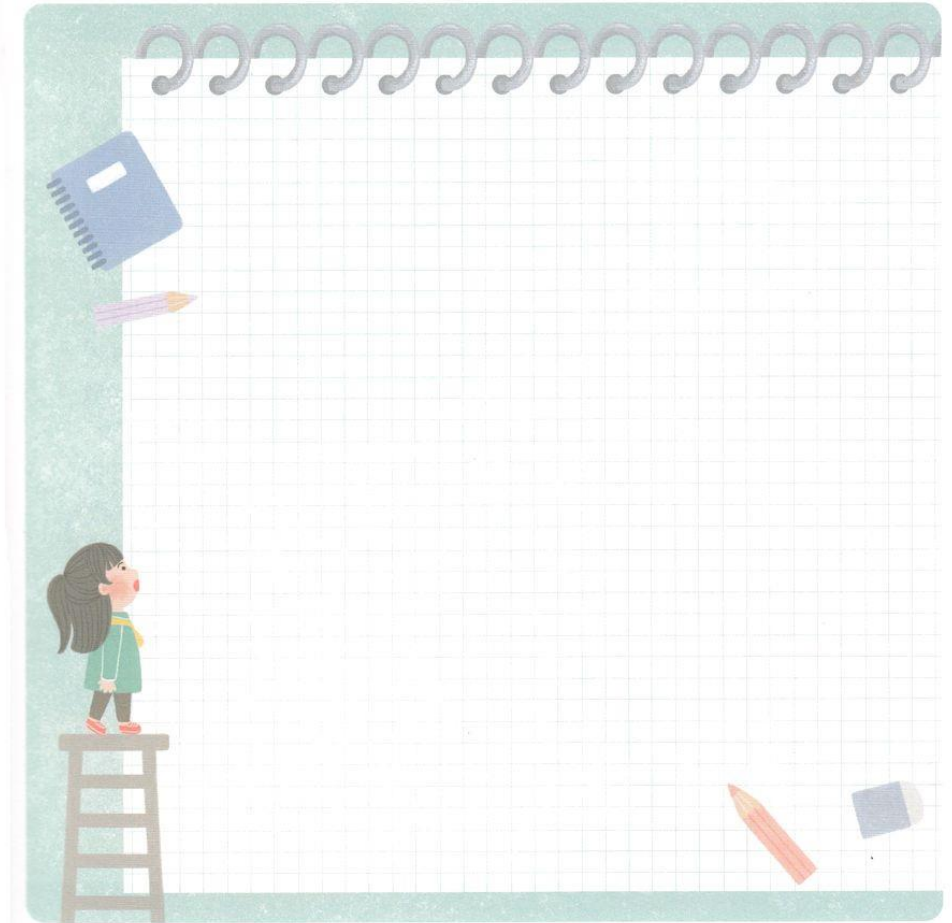
ミッションホーム要員メッセージ | 2019.12.26



絵をかこう

先週、何か辛い問題はありましたか。

それを絵にかきましょう。その問題の中に感謝を見つけて、神様とともにいる深い祈りにつなげて、感謝の内容を日記に書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



こころを さだめた レムナント

ダニエル 1章8～9節

ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。神は宦官の長に、ダニエルを愛しつくしむ心を与えられた。

福音を失ったイスラエル民族は、強大国バビロンによって侵略されました。このとき、捕虜として連れていかれた少年の中にレムナントのダニエルがいました。国を失うという試練は、非常に恐ろしいことでしょう。いつ死ぬかわからない危機の中にいたからです。しかし、ダニエルはどんな状況でも、偶像をおがまないと心に決めて行動しました。そして、神様に祈って、神様がともにおられることを信じて確認するサミットタイムを持ちました。その結果、ダニエルはバビロンと全世界に主なる神様が生きておられることをあかしする伝道者になりました。

今、私たちは500年ぶりに回復したはずの福音がほとんど消えて、宗教と偶像文化による霊的問題で多くの人が苦しんでいる時代を生きています。神様は、これらすべてのことをご存知で、私たちをこの時代を生かすレムナントとして呼ばれました。ダニエルのように、福音を契約として握って、神様の前で問題と状況と現実を越えることのできる心を定めましょう。神様が上からの力を与えてくださり、だれも行くことができない現場を生かす証人にしてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ダニエルのように心に決めて契約の祈りをささげます。福音を伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを 適用しよう

福音を契約のみことばとしてどれくらい握っていますか。
福音を通して、心を定めたレムナントの姿勢を備えるように祈って書かれている単語に合う福音のみことばを見つけて書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



ぜったいに たおれません

Ⅱ テモテ 3章 14～15節

けれどもあなたは、^{まな}学んで^{かくしん}確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの人々からそれを^{まな}学んだかを知っており、また、^{おきな}幼いころから^{せいしよ}聖書に親しんで来たことを知っているからです。^{せいしよ}聖書はあなたに^{ちえ}知恵を与えてキリスト・イエスに対する^{しんこう}信仰による救いを受けさせることができるのです。

^{せいしよ}聖書のレムナントは、だれが見ても自分では解決できないとはっきりわかるような問題に置かれていました。とても^{むずか}難しい条件の中にいたのです。ヨセフは^{かていもんだい}家庭問題、モーセは^{こっかもんだい}国家問題、サムエルは^{きようかいもんだい}教会問題など、^{かみさま}神様の力が^{ひつよう}必要な問題の中に置かれていました。しかし、彼らには^か共通点があります。^{かみさま}神様から与えられた^{やくそく}みことばを約束として握りました。このように、^{かみさま}神様の契約の中にいる人々は、一つが違います。決して^{かみさま}変わらない^{かみさま}神様の^{やくそく}みことばを^{こころ}心に留めていたということです。

パウロは、自分の生きる日がいくらも残っていないということを悟りました。それゆえ、^{むすこ}息子のように思っていた^{おも}弟子テモテに^{かみさま}神様の^{やくそく}みことばを^{けいやく}契約として握りなさいと頼みました。また、^{せいしよ}聖書を通して^{まな}学んだ^{かくじつ}確実なことをしなさいと書いた手紙を送りました。

その手紙がテモテへの手紙第一、第二です。^{かみさま}神様は^{せいしよ}聖書のレムナントのように、いま^{わたくし}私たちともにおられます。私たちは、^{かみさま}神様が働いてくださる^{けいやく}契約の旅程の中にいます。^{かみさま}神様が成し遂げてくださる^{やくそく}みことばを^{わたくし}神様と私との約束として心に留めましょう。^{もんたい}問題や^{くる}苦しみの前でも、^{まへ}絶対に倒れない^{せいしよ}霊的力を与えてくださるでしょう。



みことばを
適用しよう

^{ぜったい}絶対に倒れないように私を^{わたし}導いてくださる^{かみさま}神様の^{やくそく}約束を伝えたい人はいますか。下の^{した}あいているところに、その人の^{ひと}名前を書いて^{やくそく}約束のみことばを伝える^{つだ}時刻表を待ちましょう。

なまえ	りゆう理由
	
	
	
	



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料



きょうのいのり

^{かみさま}神様、ありがとうございます。^{まいにち}毎日の礼拝を通して、どんな^{かんきよう}環境でも絶対に^{たふ}倒れないで^{かみさま}神様の^{やくそく}約束を心に刻むように^{みちび}導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かみさまが くださった あたらしい わく

1 テサロニケ 1章 5節

なぜなら、私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけではなく、力と聖霊と強い確信とによったからです。また、私たちがあなたがたのところへ、あなたがたのために、どのようにふるまったかは、あなたがたが知っています。

神様はのちにユダヤ人と呼ばれるようになるイスラエル民族を選んで、神様のみこころと計画である世界福音化を成し遂げるように願っておられました。しかし、彼らが持っていた神様から与えられた福音は次第にかすんでいきました。結局、福音が消えて、次世代に伝えることができなくなりました。どうしてもないわざわいと、過去の枠に閉じ込められたまま、今日まで至ります。その中で福音を回復した人々が出てきました。復活されたイエス様を通してミッションを受けて、マルコの屋上の間に集まって祈った人たちでした。後に、彼らは初代教会を通して成長し、神様がくださった新しい枠を持っていたのち運動をしました。

神様がくださった新しい枠は、運命と運勢という未信者状態を打ちこわすイエス・キリストの福音です。この新しい枠を持つレムナントは、聖霊なる神様の力で、神の国を広めていくお手伝いをしながら生きていきます。世の中を掌握している宗教、偶像、知識、そして古い枠を福音によって変える、神様が用いてくださる伝道者として生きていくようになります。

今、キリストのみことばを契約として握りましょう。私の古い枠が壊れて、神様がともにおられる新しい枠を持つようになるでしょう。

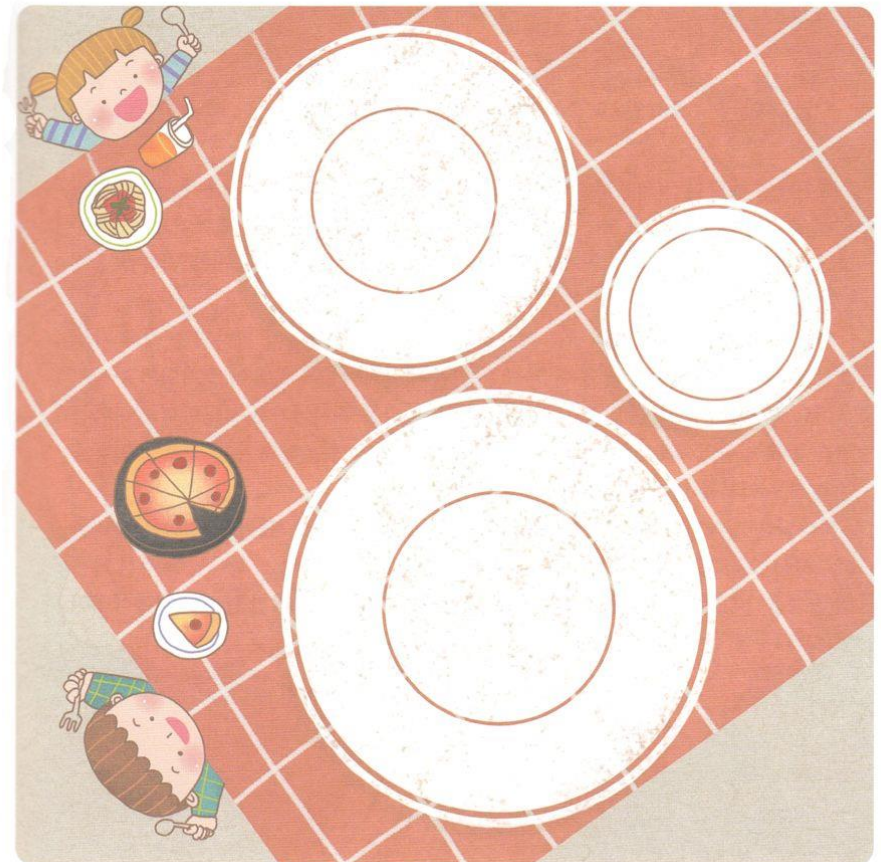
きょうのみことば



神様、ありがとうございます。神様の新しい枠である福音を通して、神様の力と強い確信の祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様がくださった新しい枠に入れるきよい心の器が必要です。心の器に私がいちばん好きな神様のみにことばを書いて、新しい枠を整えるはじまりを迎えましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



いちじくの きの じけん

マルコ
11章 24節

だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

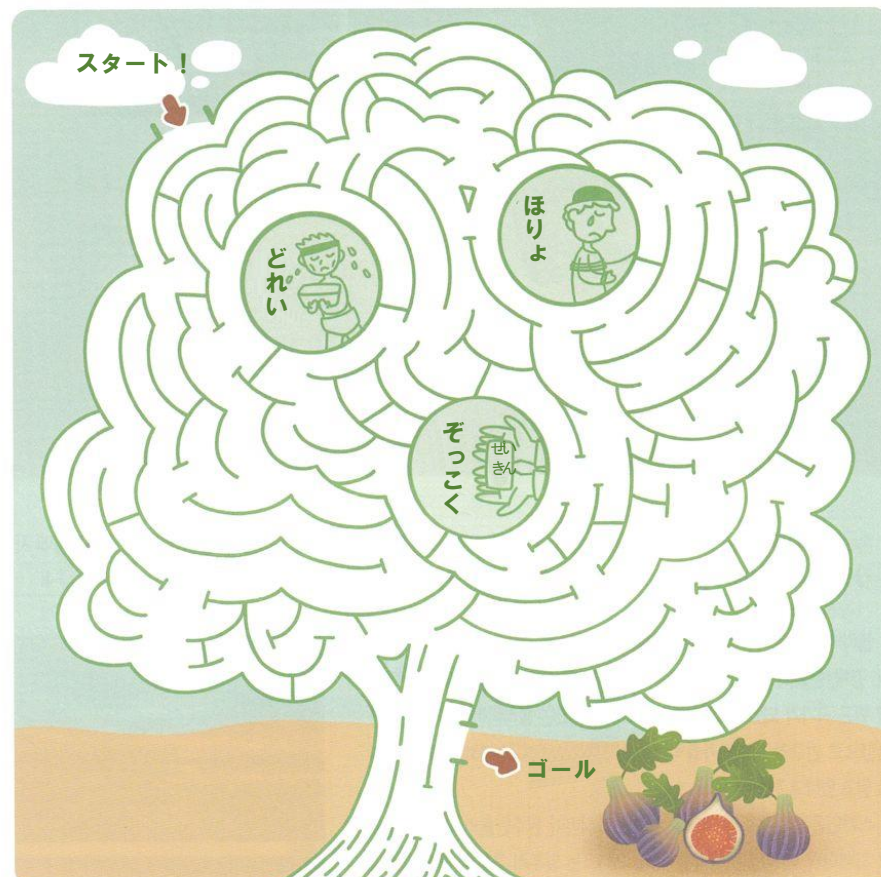
イエス様が、ベタニヤ地域からエルサレムに戻るときのことです。弟子たちはイエス様のみことばのとおり根から完全に枯れてしまったいちじくの木を見ました。これは神様から特別に多くの恵みを与えられたのに実を結ぶことができなかったイスラエル民族を象徴したことです。

神様はイスラエル民族を先に選んで、神様を離れてのろい、わざわい、地獄の背景でサタンの奴隷になったすべての民族を生かすために、福音を宣べ伝えることを願われました。しかし、イスラエル民族は福音を伝えることなく、メシヤは自分たちだけのものだという錯覚の中で生きていました。結局、神様が願っておられた福音を回復できず、次世代までもがわざわいに苦しむ歴史を残すことになりました。

神様は、時代ごとに福音と伝道を回復するレムナントをたてられました。今は私たちを呼んで、ただ福音を回復するレムナントとして準備してくださっています。神様がくださった福音のみことばを絶対に変わらない私の契約として心に留めましょう。そうすれば、完全に枯れてしまったいちじくをも生かすようになるでしょう。



いちじくの木の中に実を結ばないイスラエル民族の姿があります。めいろを通りながら、まことの福音が私の中に刻まれるように祈りましょう。



きょうの でんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



きょうの いのり

神様、ありがとうございます。いちじくの木のご教訓を悟りました。今日から福音を味わって伝えるレムナントの道を行くように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン